

TOKYO KASEI PRESS

学園新聞

第55号

学校法人 渡辺学園
発行 総務部総務課
〒173-8602 東京都板橋区加賀
1-18-1 電話(3961)5226

東京家政大学
東京家政大学大学院
東京家政大学短期大学部
附属女子高等学校・附属女子中学校
附属みどりヶ丘幼稚園

主な内容

- 平成23年度 創立130周年を迎えます 1面
- 大学17号館竣工 1面
- 頑張っています在学生 活躍しています卒業生 2面
- トントン! 研究室訪問③ 2面
- 第50回緑苑祭 4面

平成23年度 創立130周年を迎えます



校祖 渡邊辰五郎像

授業風景

「Girls, be ambitious!」

平成22年4月に開設された全学共通教育科目・A群授業の様子です。

平成22年2月20日に地鎮祭を行い、9月15日に完結・引渡しを受けた大学17号館の竣工式が、初秋の爽やかな晴天に恵まれた9月25日(土)に、学園・設計者参列のもと、水川神社富田宮司により、厳かに執り行われました。

平成22年2月20日に地鎮祭を行い、9月15日に完結・引渡しを受けた大学17号館の竣工式が、初秋の爽やかな晴天に恵まれた9月25日(土)に、学園・設計者参列のもと、水川神社富田宮司により、厳かに執り行われました。

平成22年2月20日に地鎮祭を行い、9月15日に完結・引渡しを受けた大学17号館の竣工式が、初秋の爽やかな晴天に恵まれた9月25日(土)に、学園・設計者参列のもと、水川神社富田宮司により、厳かに執り行われました。

施設概要

本学は、明治14年校祖渡辺辰五郎先生によって、本校門学校となり、戦後この板橋移り昭和24年に東京家政大学が設置され、翌昭和25年には東京家政大学短期大学部が併設されました。

昭和61年に、埼玉県狭山市に文学部が設置され、平成元年には、大学院家政学研究科修士課程、平成5年には同研究科博士課程、平成8年には、大学院文学研究科の修士課程が開設され、研究教育面で大きく発展し、今日に至ります。

また本学は、附属女子高等學校・附属女子中学校、等学校・附属みどりヶ丘幼稚園も設置しています。

平成18年度には、創立125周年記念事業として記念行事準備委員会を中心とした広報活動による本学のイメージの統一とイメージアップ戦略を実施します。

また、学外会場での入学式、その後に行われる記念講演

平成23年度入学式は、会場を学内から両国国技館に移し、大学・大学院・短期大学部合同で挙行されます。

収容人数の多い会場を利用することで、保護者の方にも会場内で直接入学式に参加して頂くことが可能となります。

入学式に続き130周年記念行事の一環として、同会場にて、本学名譽教授・樋口恵子先生の記念講演「妹達へー女性、一生の働き方ー」が行われます。

平成22年4月に開設された全学共通教育科目・A群授業の様子です。

平成22年2月20日に地鎮祭を行い、9月15日に完結・引渡しを受けた大学17号館の竣工式が、初秋の爽やかな晴天に恵まれた9月25日(土)に、学園・設計者参列のもと、水川神社富田宮司により、厳かに執り行われました。

平成22年2月20日に地鎮

祭を行った大学17号館の竣工式が、初秋の爽やかな晴天に恵まれた9月25日(土)に、学園・設計者参列のもと、水川神社富田宮司により、厳かに執り行われました。

平成22年2月20日に地鎮

大学17号館竣工

配した、延床面積1,582・17m²の建物です。

昨年度の大学16号館完成に引き続き、本学創立130周年に向けて、更なる教育施設の充実となりました。

平成22年2月20日に地鎮祭を行った大学17号館の竣工式が、初秋の爽やかな晴天に恵まれた9月25日(土)に、学園・設計者参列のもと、水川神社富田宮司により、厳かに執り行われました。

平成22年2月20日に地鎮祭を行った大学17号館の竣工式が、初秋の爽やかな晴天に恵まれた9月25日(土)に、学園・設計者参列のもと、水川神社富田宮司により、厳かに執り行われました。

平成22年2月20日に地鎮祭を行った大学17号館の竣工式が、初秋の爽やかな晴天に恵まれた9月25日(土)に、学園・設計者参列のもと、水川神社富田宮司により、厳かに執り行われました。

平成22年2月20日に地鎮祭を行った大学17号館の竣工式が、初秋の爽やかな晴天に恵まれた9月25日(土)に、学園・設計者参列のもと、水川神社富田宮司により、厳かに執り行われました。

平成22年2月20日に地鎮祭を行った大学17号館の竣工式が、初秋の爽やかな晴天に恵まれた9月25日(土)に、学園・設計者参列のもと、水川神社富田宮司により、厳かに執り行われました。



内閣府主催「東南アジア青年の船」青年団来校

青年約50名が本学に来校しました。

「東南アジア青年の船」事業に伴い、日本とASEAN10ヶ国の青年約50名が本学に来校しました。

内閣府主催「東南アジア青年の船」事業とは、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。

「東南アジア青年の船」事業は、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。

「東南アジア青年の船」事業は、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。

内閣府主催「東南アジア青年の船」事業とは、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。

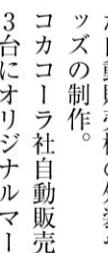
「東南アジア青年の船」事業は、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。

「東南アジア青年の船」事業は、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。

内閣府主催「東南アジア青年の船」事業とは、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。

「東南アジア青年の船」事業は、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。

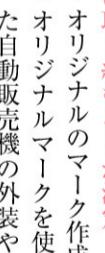
「東南アジア青年の船」事業は、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。



内閣府主催「東南アジア青年の船」事業とは、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。

「東南アジア青年の船」事業は、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。

「東南アジア青年の船」事業は、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。



内閣府主催「東南アジア青年の船」事業とは、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。

「東南アジア青年の船」事業は、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。

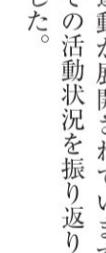
「東南アジア青年の船」事業は、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。



内閣府主催「東南アジア青年の船」事業とは、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。

「東南アジア青年の船」事業は、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。

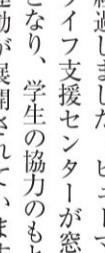
「東南アジア青年の船」事業は、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。



内閣府主催「東南アジア青年の船」事業とは、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。

「東南アジア青年の船」事業は、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。

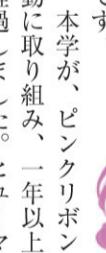
「東南アジア青年の船」事業は、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。



内閣府主催「東南アジア青年の船」事業とは、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。

「東南アジア青年の船」事業は、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。

「東南アジア青年の船」事業は、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。



内閣府主催「東南アジア青年の船」事業とは、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。

「東南アジア青年の船」事業は、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。

「東南アジア青年の船」事業は、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。



内閣府主催「東南アジア青年の船」事業とは、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。

「東南アジア青年の船」事業は、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。

「東南アジア青年の船」事業は、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。



内閣府主催「東南アジア青年の船」事業とは、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。

「東南アジア青年の船」事業は、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。

「東南アジア青年の船」事業は、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。

内閣府主催「東南アジア青年の船」事業とは、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。

「東南アジア青年の船」事業は、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。

「東南アジア青年の船」事業は、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。

「東南アジア青年の船」事業は、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。

内閣府主催「東南アジア青年の船」事業とは、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。

「東南アジア青年の船」事業は、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。

「東南アジア青年の船」事業は、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。

「東南アジア青年の船」事業は、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。

内閣府主催「東南アジア青年の船」事業とは、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。

「東南アジア青年の船」事業は、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。

「東南アジア青年の船」事業は、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。

「東南アジア青年の船」事業は、昭和49年に、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)加盟10ヶ国との間で共同事業として発足しました。

内

